



みなみいず 町議会だより

No. 57 号

2014年
平成26. 5. 15

発行／南伊豆町議会 編集／議会広報編集委員会 〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1 TEL0558(62)6240
E-mail: gikaij@town.minamiizu.shizuoka.jp



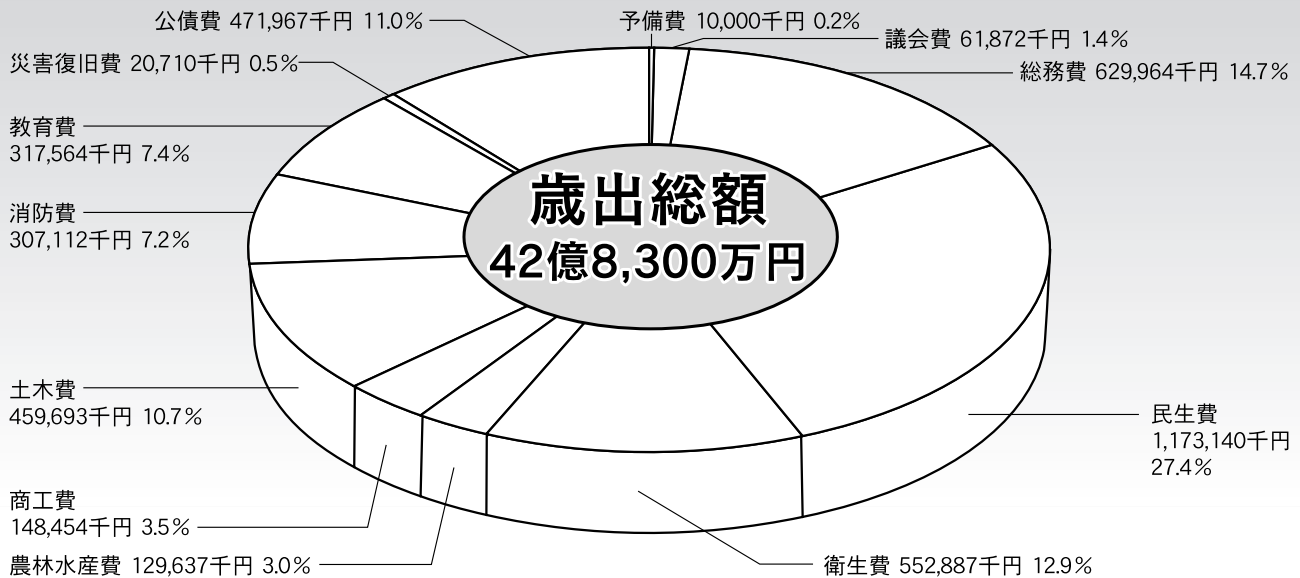
杉並区の区議会保健福祉委員会との意見交換会（5月1日 議場にて）

3月定例会を2月25日から3月14日まで18日間の会期で開催しました。

- 主な内容 ● 3月定例会2～4
- 予算決算常任委員会審議内容5～10
- 一般質問11～15
- 議会一口メモ、くろ潮16

会計予算成立 総額79億3,639万5千円

● 防災・減災・経済・鳥獣害対策に配慮

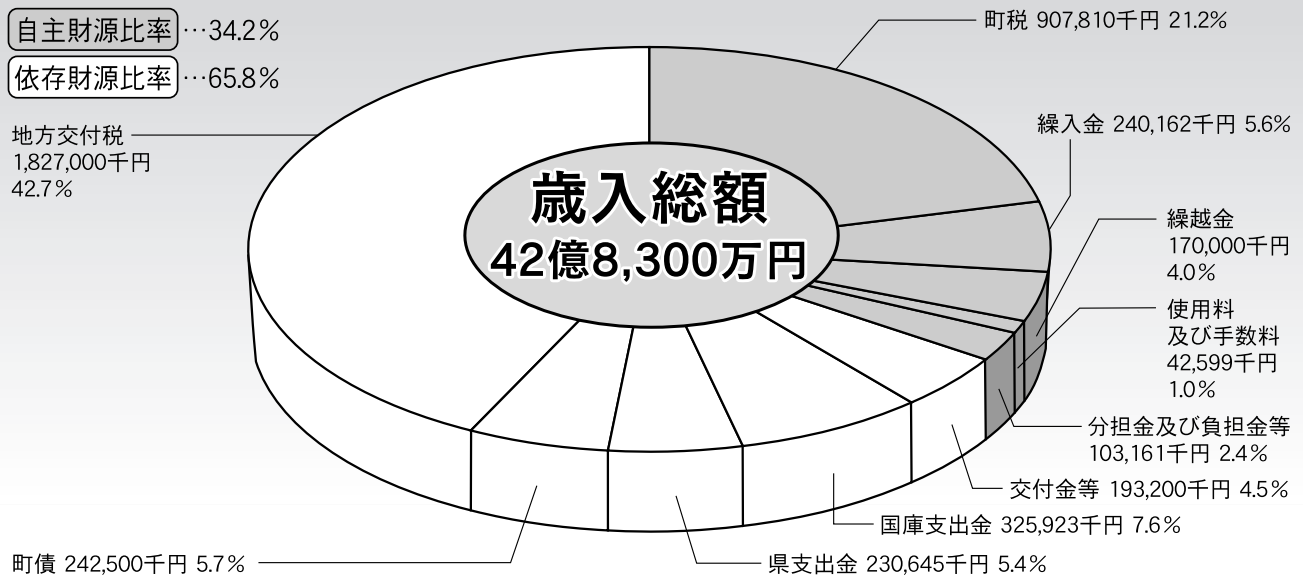


① 条例制定・改正

- ▼南伊豆町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
全員賛成で可決
- ▼南伊豆町税賦課徴収条例の一部を改正する条例制定について
全員賛成で可決
- ▼南伊豆町社会教育委員条例の一部を改正する条例制定について
全員賛成で可決
- ▼南伊豆町漁業集落環境整備施設設置・管理条例の一部を改正する条例制定について
全員賛成で可決
- ▼南伊豆町道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例制定について
全員賛成で可決
- ▼南伊豆町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例制定について
全員賛成で可決
- ▼南伊豆町民参画及び協働の推進に関する条例の制定について
全員賛成で可決
- ▼南伊豆町石廊崎ジャングルパーク跡地利用計画審議会条例制定について
全員賛成で可決
- ▼南伊豆町臨時的任用職員の給与等に関する条例制定について
全員賛成で可決

平成26年度 一般会計・特別会計・水道事業

■ 一般会計…………… 42億8,300万円 (前年比－7.4%)



■ 特別会計(11会計)…………… 32億1,592万2千円 (前年比－1.3%)

■ 水道事業会計…………… 4億3,747万3千円 (前年比＋22.9%)

② 第一常任委員会審議

▼南伊豆町文化財保護基金の設置及び管理に関する条例制定について
全員賛成で可決

▼南伊豆町税外収入金の延滞金等徴収及び滞納処分に関する条例制定について
全員賛成で可決

▼南伊豆町子ども・子育て会議条例制定について
全員賛成で可決

▼南伊豆町民参画及び協働の推進に関する条例の制定について
全員賛成で可決

▼南伊豆町石廊崎ジャングルパーク跡地利用計画審議会条例制定について
全員賛成で可決

▼南伊豆町臨時的任用職員の給与等に関する条例制定について
全員賛成で可決

▼南伊豆町文化財保護基金の設置及び管理に関する条例制定について
全員賛成で可決

▼南伊豆町税外収入金の延滞金等徴収及び滞納処分に関する条例制定について
全員賛成で可決

▼南伊豆町子ども・子育て会議条例制定について
全員賛成で可決

③ 予算決算常任委員会審議

▼一般会計予算

○総務・福祉・教育分野 ○民生・衛生分野 ○産業・土木分野
賛成多数で可決

▼特別会計

○国民健康保険 ○介護保険 ○後期高齢者医療
○南上財産区 ○南崎財産区 ○三坂財産区 ○土地取得
○公共下水道事業 ○子浦漁業集落排水事業
○中木漁業集落排水事業 ○妻良漁業集落排水事業
一部を除き全員賛成で可決

▼水道事業会計

○上水道・簡易水道に関する事 全員賛成で可決

④ 発委・その他

▼南伊豆町専決処分条例制定について

賛成多数で可決

▼指定管理者の指定について

湯の花観光交流館

賛成多数で可決

▼指定管理者の指定について

○石廊崎コミュニティセンター
○加納生活新興センター ○一条多目的センター
○市之瀬高齢者活動促進センター
○下小野高齢者センター ○入間生活改善センター
○中木生活改善センター ○西子浦生活改善センター
○伊浜山村活性化支援センター ○上小野農産物集荷所
○入間集落排水施設 ○子浦集落排水施設
○中木集落排水施設 ○妻良集落排水施設
○中木水産飲雑用水施設 ○妻良水産飲雑用水施設
全員賛成で可決

一般会計・特別会計・水道事業会計補正予算可決

※3月補正予算は年度末で各種事業等の確定によるものです。

■一般会計…………… 1,487万6千円
(全員賛成)

■特別会計…………… ▲2,981万7千円
(全員賛成)

●国民健康保険…………… 2,678万9千円	●介護保険……………▲2,021万1千円
●後期高齢者医療…………… ▲144万9千円	●南上財産区……………19万3千円
●公共下水道事業…………… ▲3,313万9千円	●子浦漁業集落排水事業…▲200万円

■水道事業会計…………… ●収益的收入…………… ▲1,928万円
●収益的支出…………… ▲70万7千円
(全員賛成)

予算決算常任委員会審議内容

第1款・議会費、第2款・総務費、第8款・消防費、第11款・公債費、第12款・予備費及び関連歳入について

問 3月議会定例会の開催時期が早まったことへの質問がなされた。

答 3月末まで議会が続くと、行政執行に支障をきたすため。

問 歳計外現金預金利子への質問がなされた。

答 定期にして預金利子を稼ぐ性質のもの。

問 県収入証紙売捌き手数料への質問がなされた。

答 静岡県の収入証紙を売捌いた金額の3.15%の手数料です。

問 町有財産台帳整備測量

等への質問がなされた。

答 町有財産の台帳整理は平成25年でほぼ完了し、平成26年以降は防災室と話し合いながら進めていきたい。

問 基幹業務電算事務への質問がなされた。

答 サイバー攻撃に関しては、業者からの連絡もあるが、サーバーでブロックしていることでも防御している。各パソコンについては電算係がチェックできる状況にある。

問 町税過誤収納金等還付金への質問がなされた。

答 町税過誤収納金等の還付金は、過去の決算額を基に算出し、増額になったのは法人税の予定納税が要因の一つである。

問 庁舎補修等工事への質問がなされた。

答 保守で賄いきれない時のために予算計上してある。

問 婚活事業への質問がなされた。

答 委託先の商工会青年部から詳しい結果は聞いていない。

問 石廊崎ジャングルパーク跡地利用計画策定審議会への質問がなされた。

答 県の職員等もメンバーに加えることを検討する。

問 全国半島振興市町村協議会負担金への質問がなされた。

答 一条・稲梓線の道路計画に関しては、次の半島振興計画の中に何としても入

れてもらいたいと思っている。

問 歳入全体に関する質問がなされた。

答 地元経済の活性化により、税収が増加することを願う。

問 番号制度システム設計への質問がなされた。

答 平成27年の番号制度導入への準備です。

問 定住促進事業への質問がなされた。

答 NPO未来塾へ委託している事業。

問 まちづくり研修補助金への質問がなされた。

答 まちづくりに積極的な20歳以上50歳未満の町民に、

先進地研修費として7万5千円を限度額として、4分の3以内を補助することができるもの。

問 津波避難ビル整備事業への質問がなされた。

答 第四次災害想定の内容により、現在、避難ビル協定を結んでいる建物も見直しを検討している。補助金の予算としては500万円を用意した。

問 地震対策事業への質問がなされた。

答 ヘリ等の航空機も使用した救助支援を、有事の際は検討しようと考えている。

問 防災無線への質問がなされた。

答 デジタル化が進められている。

第3款・民生費、第4款・衛生費、第9款・教育費及び関連歳入について

問 子育て支援への質問がなされた。

答 会議は2回開催で考えている。

問 臨時保育士の賃金への質問がなされた。

答 臨時保育士20名、用務員兼事務員2名の計22名分の予算になっている。

問 健康福祉センター建設検討委員会への質問がなされた。

答 町民の意見を集めてのワークショップ形式から始めていきたい。

問 健康福祉センターの他施設との複合施設化への質問がなされた。

答 それも含めて検討するつもり。

問 保育所の広域入所への質問がなされた。

答 南伊豆町から近隣市町へと勤務される方、また、その逆の方への受入れを連携している。

問 在宅高齢者等の食事サービスへの質問がなされた。

答 民間のネットワークも使って、地域で高齢者を見守るシステムも活用している。

問 第1次・救急医療への質問がなされた。

答 賀茂医師会に委託している。



問 第2次・小児救急医療への質問がなされた。

答 圏域の3病院に委託し、負担金は、下田市が幹事となり近隣市町の人口割り等により決定される。

問 不妊治療・未熟児治療・不育治療への質問がなされた。

答 不妊治療は平成24年度から導入された。未熟児治療は、平成25年度から市町事業になり、事務処理上の問題で対象に至らなかった例もあった。不育治療については考えていない。

問 ワクチン接種の後遺症への質問がなされた。



答 厚生労働省が、法定接種であるが勧奨は控えるとの考えを示したので、後遺症の説明を保護者にしっかりと説明をしたうえで、希望者が接種する方法に切り替えた。平成26年度も同じ考えで行う。

問 中国のPM2.5大気汚染への質問がなされた。

答 注意喚起情報を受けて、同報無線及び関係機関に報告することになっている。



問 下田メディカルセンター負担金への質問がなされた。

答 常勤の麻酔医を雇用することを管理者に常に伝えている。

問 伊浜地区への巡回診療への質問がなされた。

答 議会へ伝える前に巡回診療が開始されることになったことは、順序が逆だったかもしれないが、地域にとっては良い結果だと思っています。

問 ごみ焼却施設維持管理への質問がなされた。

答 焼却灰処理の委託先現場も視察しており、まだ大丈夫だと判断している。

問 焼却施設補修工事への質問がなされた。

答 指定管理者及びコンサルタントの導入を含めて検討する。

問 地域医療振興会の巡回診療についての地元区長への事前連絡への質問がなされた。

答 施設利用については連絡をしている。議会や地域への事前連絡が遅れたことは状況から時間が無かったことを理解してほしい。

問 救急の受入れ実績の最新データを配布してほしい。

答 後ほど印刷して配布します。

問 技能講習負担金への質問がなされた。

答 1名の職員に資格を取得させる予定なので、その研修費です。

問 焼却施設補修工事への質問がなされた。

答 老朽化しているのですが、今後検討していきたいと思っています。

問 巡回診療の計画について質問がなされた。

答 巡回診療が始まることによって、県の補助対象から外れることはない認識している。

問 指定ごみ袋での清掃センターへの持込みが有料である件への質問がなされた。

答 今後、検討はするが、現在は指定袋ではないもので持込んでいただくよう伝えられている。

問 どのような団体に補助金を出しているのか質問がなされた。

答 少年スポーツ団体等の13団体に補助金を出している。少ない団体で2万円前後、多い団体で8万円から9万円です。人数割りで金額が決まります。

問 伊浜地区通学支援業務委託料への質問がなされた。



答 南中小学校と三浜小学校の統合に伴って、通学バスについても調整している。

問 臨時調理員への質問がなされた。

答 正規職員と臨時職員の業務内容は同じになる。

問 文化財管理についての質問がなされた。

答 まずは広報を考え、新聞等で発信していきたい。また、理解ある方の話も聞いていきたい。

問 日誌遺跡のその後の経過について質問がなされた。

答 今月中には入手できると思う。合計11点の予定。

問 日誌遺跡の展示について質問がなされた。

答 湿気に気を付けながらショーケースでの展示を考えている。

問 ふるさと学級スキー教室への質問がなされた。

答 2万円程度の個人負担も頂いており、2泊3日で参加人数も約60人いるので妥当な金額だと思っている。

問 三浜小学校の今後の使用方法への質問がなされた。

答 様々な使用方法が考えられますが、こちらもワークショップ形式で検討していく予定です。



第5款 農林水産業費、
第6款 商工費及びその
関連歳入について

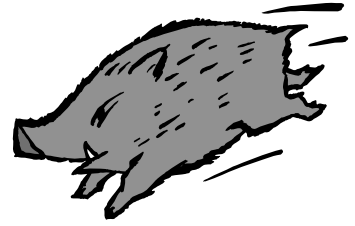
問 遊休農地美化業務委託料への質問がなされた。



答 現在は農業振興会へ委託している。地元高校への委託も視野に入れて検討したいと考える。前回やらなかった向日葵も、今回は作付けする予定。

問 吉祥体験農園への質問がなされた。

答 農業体験を目的としているため、入ってくる使用料とかかる費用の採算性は重視していない状況だが、今後は検討が必要になると思う。全14区画中、6名の利用者が2区間ずつ使用している。収穫した野菜の販売を許可したかどうかについては、今確認できませんので、後ほど調べます。



問 有害対策事業への質問がなされた。

答 捕獲数は猪390頭、猿15頭、鹿68頭となっている。

問 農業振興地域整備計画の場所についての質問がなされた。

答 農業振興地域に入っている場所全てが対象になる。

問 差田グラウンドベンチ補修工事への質問がなされた。

答 一塁側と三塁側の屋根付きベンチが老朽化しているため、屋根部分を交換する。

問 林道青野・八木山線用地測量業務への質問がなされた。

答 平成28年度の完成を目指しているが、進捗状況は35%程度で、南伊豆町側の工事が遅れている状況。

問 環境保全型農業直接支援対策事業費補助金への質問がなされた。

答 無農薬栽培に対して補助金を出そうという性質のもの。国が2分の1、県が4分の1、町が4分の1という負担割合です。

問 水産業の後継者育成についての質問がなされた。

答 農業に比べると漁業に対する補助対策が弱いことは感じている。

問 森林整備事業補助金についての質問がなされた。

答 愛美林、石井林業、森林組合の3事業体で45ヘクタールを間伐する事業内容です。

問 美しい森林づくり基盤整備事業への質問がなされた。

答 間伐作業用の進入道路整備に対する補助で、国が2分の1負担します。



問 森林整備地域活動支援推進事業への質問がなされた。

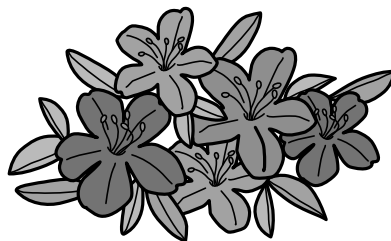
答 愛美林、石井林業、森林組合の3事業体による事業計画作成がその内容です。95ヘクタールの計画をしている。

問 中山間地域林業整備事業補助についての質問がなされた。

答 林業機械の導入への補助で、今年度は石井林業からの機械導入の話がある。

問 天神原つつじまつりに関する道路拡幅に関する質問がなされた。

答 担当課には検討するよう伝えてある。道路にかかる木の枝の伐採に関しても検討している。



問 青野川利活用観光活性化事業補助金への質問がなされた。

答 これは現在実施されています「夜桜流れ星」に対する補助金です。河川の利活用に関しても検討していきます。

問 体験型プログラム人材育成事業の内容と効果への質問がなされた。

答 シーカヤックの体験に関して、現在1名で対応しているのが、人材育成をしたいということ。2名を予定しており、ジオガイドとして育ててもらえば効果があると考えております。期間は1年を予定しております。

問 静岡県信用保証協会事務負担金の大小市町の割合への質問がなされた。

答 基本的に割合は件数で決まります。

問 天神原つつじまつりに関する草刈りについて質問がなされた。

答 以前はボランティアで行っていたのですが、山つつじがデリケートな植物のようで樹勢が弱くなっております。現在は詳しい人から情報集めて様子見の状態です。

問 ふるさと着地型観光事業への質問がなされた。

答 事業主体は商工会で、3年間実施します。平成25年度は研修等を行っており、平成26年度は集客に向けて事業展開をしていく予定です。3年間実施ですから平成27年度まで続きます。

問 伊豆半島ジオパーク構想推進事業の内容への質問がなされた。

答 ジオパークの世界認定に向けての推進事業の補助金です。

問 公共交通機関等利活用観光活性化事業への質問がなされた。

答 旅館客向けのイセエビ号への補助金が250万円、民宿客に向けた補助で250万円、合計500万円となります。



問 湯の花観光交流館指定管理委託についての質問がなされた。

答 指定管理委託している団体には、将来的には自立できる方向で考えてもらいたいのですが、事業の性格上無理なこともあります。ただ、観光協会には自立の方向性は求めている。

問 「夜桜流れ星」の運営についての問題点への質問がなされた。

答 当初計画していた撮影に関しての認識に異なる部分があったことは事実です。

問 「ツデーマーチ」と「夜桜流れ星」は同時開催にしてはどうか。

答 検討します。

問 駐車場の有料化への質問がなされた。

答 不満の問い合わせもあったが、協力してくれる人もありました。



問 温泉保護調査業務委託料への質問がなされた。

答 地熱発電に関して補助金申請を進めていくための目的です。

問 海外セールス事業助成金への質問がなされた。

答 静岡県市町村振興協会の助成金です。OWS大会へオーストラリアの選手10名程度を招聘したい狙いがあり、予算計上しました。2020年のオリンピックに向けての練習場にできないものかと考えております。

問 職員海外派遣調査助成金への質問がなされた。

答 インバウンドコマースシャルのための台湾への派遣費等が内容です。

第7款・土木費、第10款・災害復旧費及び関連歳入について

問 石廊崎区内4号線測量設計委託料への質問がなされた。

答 測量調査してから工事に関する設計です。

問 石廊崎線測量設計委託料への質問がなされた。

答 いわゆる下の売店から登山道の防災工事に関する概略設計です。防災が目的ですから石廊崎活性化とのリンクまでは至っておりません。

問 伊浜線測量設計委託料への質問がなされた。

答 海上橋等の形状ができるかどうかの測量調査です。

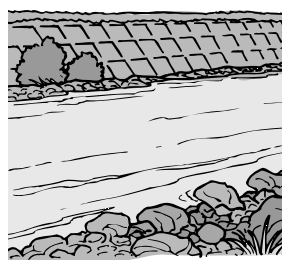
問 橋梁長寿命化修繕事業についての質問がなされた。

答 橋脚についても欄干と並行して考えながら、より良い工法を検討していく。

高欄を含めて修繕を実施しながら、耐震化も進めていきます。

問 石井区内14号線道路改良工事への質問がなされた。

答 平成26年度で完成予定ですが、外灯の設置予定はありません。



問 河川の草刈りは各地区で行っているのですが、道路の草刈りも行ってみてはどうか。

答 春から夏にかけて河川愛護という形で、町内33区で草刈りをお願いし、道路に関して主要12路線は町で、草刈りを行っている。

問 中木記念公園維持補修工事の質問がなされた。

答 治山施設補修は、県に調査依頼をかけます。区の

維持管理に負担の掛らない
施設補修工事を行います。

問 町営中木住宅管理事務
に関しての質問がなされた。

答 土地と建物の所有権に
公図上のズレがあるので、
調整していきたい。

特別会計予算 水道事業 会計予算

議第40号

■平成26年度南伊豆町国民健康保険特別会計予算について

議第41号

■平成26年度南伊豆町介護保険特別会計予算について

議第42号

■平成26年度南伊豆町後期高齢者医療特別会計予算について

質疑なし

議第43号

■平成26年度南伊豆町南上財産区特別会計予算について

議第44号

■平成26年度南伊豆町南崎財産区特別会計予算について

議第45号

■平成26年度南伊豆町三坂財産区特別会計予算について

議第46号

■平成26年度南伊豆町土地取得特別会計予算について

問 土地取得特別会計について、具体的な場所はどこなのか。

答 別紙図面にて説明します。



議第47号

■平成26年度南伊豆町公共下水道事業特別会計予算について

議第48号

■平成26年度南伊豆町子浦漁業集落排水事業特別会計予算について

議第49号

■平成26年度南伊豆町中木漁業集落排水事業特別会計予算について

議第50号

■平成26年度南伊豆町妻良漁業集落排水事業特別会計予算について

問 クリーンセンター改築更新実施設計業務委託料について質問がなされた。

答 長寿命化計画に基づき事業化するものです。

問 下水道工事の加入率に関する質問がなされた。

答 現在539戸が加入している。加入促進のため利子補給制度もある。



議第51号

■平成26年度南伊豆町水道事業会計予算について

問 減価償却、損益分岐点に関しての質問がなされた。

答 減価償却は定額法で処理している。新会計基準の適用に際し損益分岐点等の試算は実施していない。今後は、財務分析等検証することが必要と認識しております。

問 一般会計からの繰入金に関しての質問がなされた。

答 一般会計からの繰入金は今後もお願いしたいと思えます。

問 簡易水道に関しての質問がなされた。

答 簡易水道施設整備に関しては平成28年度で完了いたします。

問 簡易水道の電源装置に関しての質問がなされた。

答 南上簡水の非常用発電機については未整備である。長時間停電等の課題解決に向けて早期に対応していきたい。



●一般質問

町長に聞きました



加 畑 毅 議員

町の災害対策への取り組み

質問 1月24日「土砂災害

防止法による区域の指定」の説明会が下賀茂公会堂で開催され、下田土木事務所から説明があった。町内各所に「崖崩れ注意」「土石流危険渓流」の看板があるが、土木事務所からは工事を行うための説明会ではない趣旨が伝えられた。危険だと言っておきながら工事を行うつもりはないという説明は無責任ではないか。

町長 この説明会は土砂災害の発生するおそれのある土地を明らかにし、町民の避難体制や整備や住宅建築の抑制を図ることにより、安全な地域づくりを進めるソフト事業として行われております。ただ、ハード事業に対する予算が付かないというのは問題があるとは思いますが、町としては土砂災害防止法による区域指定を基に、自らが住んでいる場所の危険度を理解し



ていただき、緊急避難に活用していただきたいと思っております。指定が終了した地域には、ハザードマップの配布を予定しており、砂防地すべり急傾斜地対策事業は町民の要望に対する受付窓口を設け、県に対し早急に事業化していただくよう要望しているところであります。

質問 商店街の中、役場の周辺にも看板が付いており、それには崖が崩れている絵が描いてある。これを観光客が見たら、この周辺には住めないという印象を与えてしまう。予算付けする予定があるなら、その間の注意看板として理解できるが、

「工事する予定はないが、崩れるので気をつけて」という看板設置です。危険だという住民の意識は高まります。ただ、この指定によって資産価値も変わるわけですね。その土地を担保に入れた融資を受けている人には当然に影響は出ます。その辺まで県が承知してやっているのか。この件に関して、は町から県にどんな要望を突きつけてほしいが、いかがか。

町長 私も何年前に、家の前に急傾斜地の看板を貼られて、何でこんなのをやるんだと言いました。現実には、議員が言うように土地の価値とか資産価値とかに影響してくることを、機会ある毎に国会議員とか担当部署に訴えていくようにします。努力します。

意見 ぜひとも、その方向で進めていただきたい。我が町は観光地でもあり、その看板の影響で観光客は減少してしまう。他の方法を考えられなかったのかと思う。看板を設置するのなら、

同時に山林を整備してほしい。桜まつりに関して言えば、山の整備を行わないことによって、その山影によって花を楽しむ時間が短くなり、観光客の滞在時間が短縮する。これも経済効果には影響します。山林整備には二重三重の効果があるということのを再度認識すべきです。



温泉地熱調査の継続と地域活性化座談会のすすめ方
今まで行った質問について、その後の経過

※質問し、回答があった。

災害時における医療



宮田和彦 議員

質問 災害時における医療確保のあり方の基本的な考えとして、被災地内の医療機関は自らも被災者となるものの、被災現場において最も早く医療救護を実施できることからその役割は大変重要なものである。さらに、地域の医療機関を支援するための災害拠点病院の整備、災害時に迅速かつ的確に救援・救助を行うための広域災害・救急医療システムの整備、災害医療に係る保健所機能の強化、搬送期間との連携等が必要だ。町の平成21年3月作成の医療救護計画の見直し進捗状況は。

況は。

町長 県は平成25年5月、東日本大震災における災害救助の状況を踏まえ「東海地震に対する静岡県医療救護計画」の全面的な見直しを行うとともに、南海トラフ巨大地震をはじめとする様々な規模の災害や県外大規模災害等に対応する為、「静岡県医療救護計画」に改称しました。町においても静岡県医療救護計画及び南伊豆町地域防災計画との整合性を図りながら、南伊豆町医療救護計画の見直しを進めていきます。

質問 災害時の医療救護施設、救護体制は。

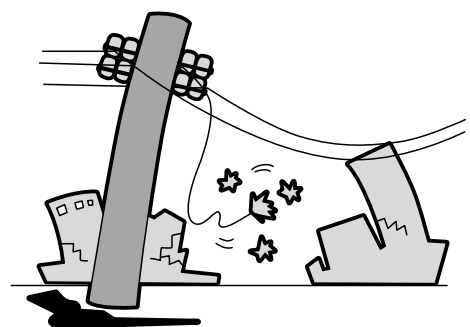
町長 地域防災計画に基づき、医療救護活動を実施する必要がある場合には、医療救護施設として救護病院、救護所を設置いたします。救護病院につきましては、医療救護活動の万全を期するため、救護病院指定に関する覚書を二次医療圏域内の下田メディカルセンター、伊豆今井浜病院、伊豆東部総合病院、熱川温泉病院、西伊豆病院の5力所の病院

と結び、救護所等については、避難所として指定した学校のうちから救護所として3力所を指定しています。また、災害時に医療救護活動に対する協力を得るため、災害時の医療救護活動に関する協定を賀茂医師会と結び、十分に連携を図り、救護体制の整備に努めます。

質問 県内には8つの二次医療圏があるが、唯一南伊豆町を含む賀茂医療圏は、災害拠点病院の目途がついていない。賀茂地区では、地域の中核病院として昨年5月、2次救急を担う公立病院が開院したが、懸念の医師不足は今も解消されないうままだ。なぜ、公立病院が災害拠点病院に指定されないのか、原因は。

健康福祉課長 DMAT(災害派遣医療チーム)を保有していない等です。

質問 県の第4次地震被害想定では、南伊豆は陸の孤島になる可能性が非常に高く、けが人も多数と予想される。重篤患者の命の確保



は、時間との戦いだ。他の医療圏への受け入れ体制は。

健康福祉課長 広域圏の受け入れについては県で計画しています。

質問 賀茂医療圏内での災害拠点病院指定は必要不可欠だ。町長に1市4町の首長の方々と連携して管理者、指定管理者に訴え続けて頂きたい。

町長 第二次救急をしつかりできるような体制をつくる様に首長会で訴えています。



谷 正 議員

社会資本(災害)整備推進にかかる環境整備

質問 南伊豆町における社会資本(災害等)整備の現状・認識は。

答弁 橋梁、道路舗装、道路法面、下水道、海岸施設等の長寿命化や機能保全等の各種インフラ整備計画策定等を進めている。静岡県地震・津波アクションプログラム2013の発表を受け、当町版のアクションプログラムを防災室、健康福祉課や建設課等、多方面にわたり、ハード・ソフト面から充実・強化を目指し、策定中である。

質問 社会資本(災害等)

整備に関する法令等は、(過疎地域自立促進特別措置法、半島振興法、南海トラフ巨大地震対策特別措置法や国土強靱化基本法)

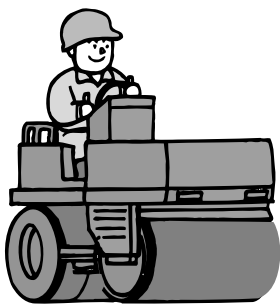
答弁 道路関係のインフラ

整備は、「国土強靱化基本法」で、災害対策や道路新設に関して、「過疎地域自立促進特別措置法」、「半島振興法」や「南海トラフ巨大地震対策特別措置法」等を検討しながら事業化を進める。本町の地域防災計画を全面見直し後、「国土強靱化市町

村計画」を進めていく。

質問 建設関連三法案の改正に対して南伊豆町は。

答弁 2月7日付国土交通省から県へ、県から南伊豆町へ通知があった。内容は適正な価格による契約、技能者の効率的活用、入札契約手続きの効率化等、地域の建設業者の受注機会の確保、建設業者の資金調達円滑化の取組みや就労環境の改善の6項目に分類されている。県に合わせたチェックリストによる書類等の確認や職員による現場立ち合い、小規模工事でも必要とされる書類の提出等、適正な施工が行われるよう管理・監督し、一層の品質確保や優良業者の育成に努め、国に合わせた制度に検討をしていく。



質問 国・静岡県との連携協議は。

答弁 総務課長、建設課長には情報収集を伝えてある。土木事務所等とは連携を取りながら「変えるべきものは変える。」を基本として対応している。

質問 入札等の改革等の認識・考え。

答弁 土木工事に關しては静岡県の積算基準単価を使用し、人件費、資材単価等に随時対応している。国等からの通知文書、公共工事の円滑な施工確保について内容を入札契約制度検討委員会に精査させ、入札制度の改革を図っていく。

一条・稲梓線の今後の考え・方向は

質問 一条・稲梓線道路建設促進期成同盟会発足後の行動計画は。

答弁 総会開催と同日に決起集会を予定し、今後あらゆる機会において事業採択関連機関等へ要望活動を行い、平成27年からの半島振興計画に位置付けるよう活動する。

質問 支援組織としての町内における組織編成は。

答弁 議会を初め、各地区、経済団体、観光協会や商工会等、決起集会、静岡県への要望活動等においても協力を求め、強力に進める。





横嶋 隆二 議員

土砂災害防止法施行の課題

質問 土砂災害防止法施行に伴う説明会が行われ、湊地区では動揺の声が出た。開発等々の規制、取引上の告知義務が生じており、固定資産税評価の見直しをすべきである。

町長 土砂災害特別警戒区域指定は、建築物の構造規制や特定の開発行為に対する制限等が発生する。平成27年度の評価替で補正を検討する。土砂災害警戒区域指定は、建築等の制限が無く補正の必要ない。

質問 土砂災害防止法の土

石流警戒区域内に、広域避難地の南伊豆東中学校があるが、津波での避難地と降雨での避難地をどう捉えているか。

町長 区域設定は、木造家を基準とした強度で換算、小中学校など広域避難所は、特別警戒区域でなければ、



建物の構造上警戒区域内でも土石流等による倒壊がないと判断している。自主避難、避難勧告等時には避難場所として開設する。

高齢者・子育て支援



質問 身近な商店が無くなり買い物困難者が増えている。健康福祉分野も含め対策は。地域支援隊に、現状窮しているところの役割を位置づける必要も。若者定住促進のため町営住宅建設を。こども医療費高校生までの無料化の考え・保育料引き下げ。高校生バス通学費補助制度の導入の考えは。長野県南部の下條村は、保育料を半額の5割を引き下げ、給食費は3割補助、高校生まで医療費は全額免除、住宅は2LDK駐車場2台分で3万4千円等の取り組

みで合計特殊出生率が2.04%で、全国でもトップクラス。年少人口率が16.4%で、全国から視察が引きも切らないという。

町長 経済的理由、地理的理由等からの交通弱者、買い物困難者の存在するのは認識しており、需要に応じて運行するデマンド方式をバス会社に検討依頼している。地域おこし協力隊が、住民と運動を立ち上げる指導はしたい。若者定住促進町営住宅は、補助事業研究と全国事例等の情報収集に努める。医療費無料化の対象年齢の引き上げは考えていないが、県下市町の動向を参考に検討する。保育料は、子ども・子育て関連3法に対応した新制度が必要で、料金も検討が必要。高校生バス通学費補助制度は、相当額が予想され、補助制



観光政策と地域活性化

質問 観光施策の遂行を地域産業経済活性化にどう結びつけようと考えているか。

町長 ヤーコンを製品化6次産業化し耕作放棄地も減らす。

質問 愛国米で使ったお酒「身上起」。日本のコシヒカリ、ササニシキの源流となった愛国米の親、「身上起」が青市から出た。町長が先頭になって宣伝すべき。みなみの桜と菜の花まつりの駐車場有料化の効果と影響は。

町長 19日間、乗用車・観光バス計99万3,767円。交流人口は、十分消費をしてくれる人ならいい、消費をしないただ桜を見て帰る人に対し、私は、特別町が税金を使い何かしてあげる必要があるかと思う。



清水清一 議員

地域産業の活性化

質問 町の産業が発展しないと町の経済も成り立たない。1次、2次、3次産業の各産業が発展してもらわなければ困る、町の考えは。

町長 農業は高齢化や後継者不足、鳥獣被害など年々衰退の傾向が、農業振興会や直売所などにより、生産、販売及び消費の地産地消が確立されつつある。林業は町内で2事業体が起業し、環境保全及び雇用確保している。水産業は、放流事業、安定した水揚げを維持し、漁業所得の向上を図る。

質問 2次産業、3次産業を、どう考えているのか。

町長 2次産業ですが、特別南伊豆町はそれほど大きな製造業を行っているところがございません。6次産業化を目指すような形で、できていけばいいかなと思っております。3次産業は、力を入れてまいりたいと思っています。

質問 建設工事業者は2次産業だ、発展施策は。

町長 周辺事業が活性化しないことには建設業という

のは発展することはない、このように考えている。

質問 地元の人は地元の業者を使っていけば経済が潤っていく。町内の個人経営者、事業所、職人の減少をどのように考えているか。

町長 商工会を中心に地域産品を活用した商品づくりブランド化に力を注いでいる。吟醸酒身上起等、製品開発事業は産業の裾野を広げる。積極的に支援したい。

質問 地元の企業を育成し、経営していただいて、町も応援していると思うが。

町長 きらりと光る補助金事業、起業する方たちに対して支援をしている。町の一つの産業を興していただくことを今考えている。

質問 みなみの桜と菜の花まつりは今年どうなのか。

町長 かつての40万、50万の集客が望める状況ではない。菜の花畑の土壌改良、夜桜流れ星、夜桜マラソン

ツデーマーチ等とイベントを講じ誘客を図っていききたい。

質問 桜と菜の花の人出状況等はどうなっているのか。

産業観光課長 2月23日現在、6万4,400人の入り込み客。菜の花畑は、大分少なく約100人。バスは、初日の5日から14日までは一切来ておりません。その後2、3台という報告。



質問 町民憲章に湯けむりのように高く仰ぐ文化のまちをつくりましようとする。下賀茂温泉をどうやって活性化していくのか。

町長 最盛期から比べるとホテルや旅館の数も少なくなり、温泉地としての活性化が重要であろうかと考える。各旅館やホテルは、そ

れぞれ趣向を凝らしているが、さらなるPRが必要、温泉組合、旅館、ホテル、観光協会等と検討したい。地熱資源については、現在地熱資源を活用したまちづくりに取り組んでいる。



定住促進の取り組み

質問 住宅の斡旋、空き家バンク等の考えは。

町長 移住交流セミナーや、65歳以上の元気な高齢者を対象にして、都会から一定期間当町に移住するワープステイについて勉強を重ねている。空き家バンクの登録件数の増加と利用者の拡大に向けてPRを重ねてまいりたい。

未来を担う子供達

頑張れ元気に三浜っ子

海が自慢、学校が自慢の三浜っ子。地域の方々のご協力を得て、他ではできない数々の貴重な体験をし、多くの思い出を作ってきました。三浜小学校で学んできたことが、子どもたちの自信と誇りにつながり、大きく成長してきたことを嬉しく思います。

「子どもたちの声が薬代わり」と喜んでくださる地域の方々に支えられながら歩んできた本校もついに閉校となってしまいました。が、「ふるさと三浜」で学んできたこと、多くの方々のお陰で充実した学校生活を送ることができたことは、いつまでも子どもたちの心に残り、これから出逢うであろう困難に立ち向かう糧となることでしょう。成長したいつの日か、ふるさとにもどり、地域に貢献する日を楽しみにしています。

南伊豆町立三浜小学校

川合 信子

南伊豆町立南伊豆三浜小学校



～三浜小閉校式にて～

議会事務局人事異動



健康福祉課から議会事務局に異動になりました。よろしくお願いします。
議会事務局主幹
渡辺 信枝



議会事務局から産業観光課に異動になりました。よろしくお願いします。
前議会事務局主幹
佐藤 禎明



総務課防災室から議会事務局に異動になりました。よろしくお願いします。
議会事務局長
大年 美文



ご苦労様でした。お元気で。
前議会事務局長
山田 昌平

議会一〇メモ

「予算」の意義・考え方

自治体の考える「予算」とは、各自治体が年度中に実施を予定し、その事業・事業にどれ程の経費を掛けるかを策定及びそれらを賄う為に必要な財源を如何に調達するかを検討して、共に金額で表示する事を言う。つまり、各自治体の一年間の収入と支出の見積りであると同時に、町の皆様に、当年度で一定の負担をお願いし、その見返りとして、

行政サービスを行い、福祉向上に努める事を約束するものである。この様に「予算」とは、直接町の皆様の生活に影響する事であるから、編成を担当する各自治体の首長以下担当者、そして、それらを審議する委員会の議員は、町全体の負担と福祉を念頭に置いて真剣に考えるべきであり、特定の人々や団体の利益のみの為に「予算」を策定する事はあってはならない。又、一つの施策のみに重点を置いた見方ではなく、広く客観的な立場からの考えに沿った「予算立て」を心掛けるべきである。(吉)



3月28日、三浜小学校閉校式が開催された。伊浜・子浦・妻良の3校が統合してから48年の歴史に幕が閉じられた。当校の卒業生でもなく、閉校式に招待されただけでもないが、この瞬間に立ち会いたく出席させてもらった。会場を埋め尽くす関係者の数に驚き、どれだけ地域に愛されていたのかを瞬時に察した。3校統合時の生徒数は230名だったそうだが、4月から統合した南中小学校の生徒数はその数に満たないという。時代の変化は受け入れなければならないが、前向きな会場の雰囲気になれた力を感じたことは言うまでもない。

勇往邁進(加)